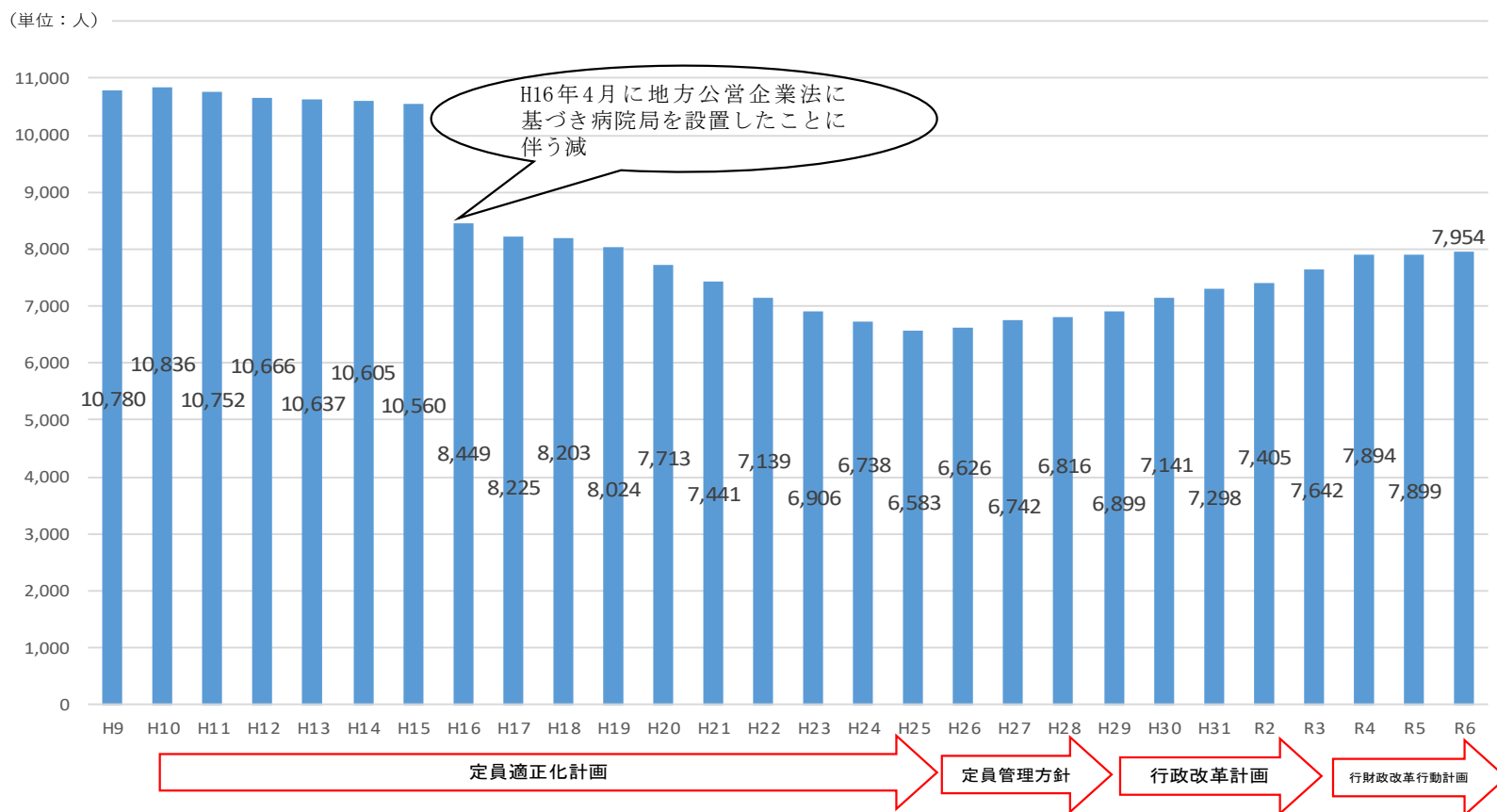


千葉県職員 の状況 ・職員のエンゲージメントに 関するアンケート調査結果

千葉県職員の状況（知事部局）

常勤職員数の推移

平成25年度まで職員数は減少していたが、社会経済状況の変化や行政需要の複雑・多様化に伴い、平成26年度以降増加が続いている。



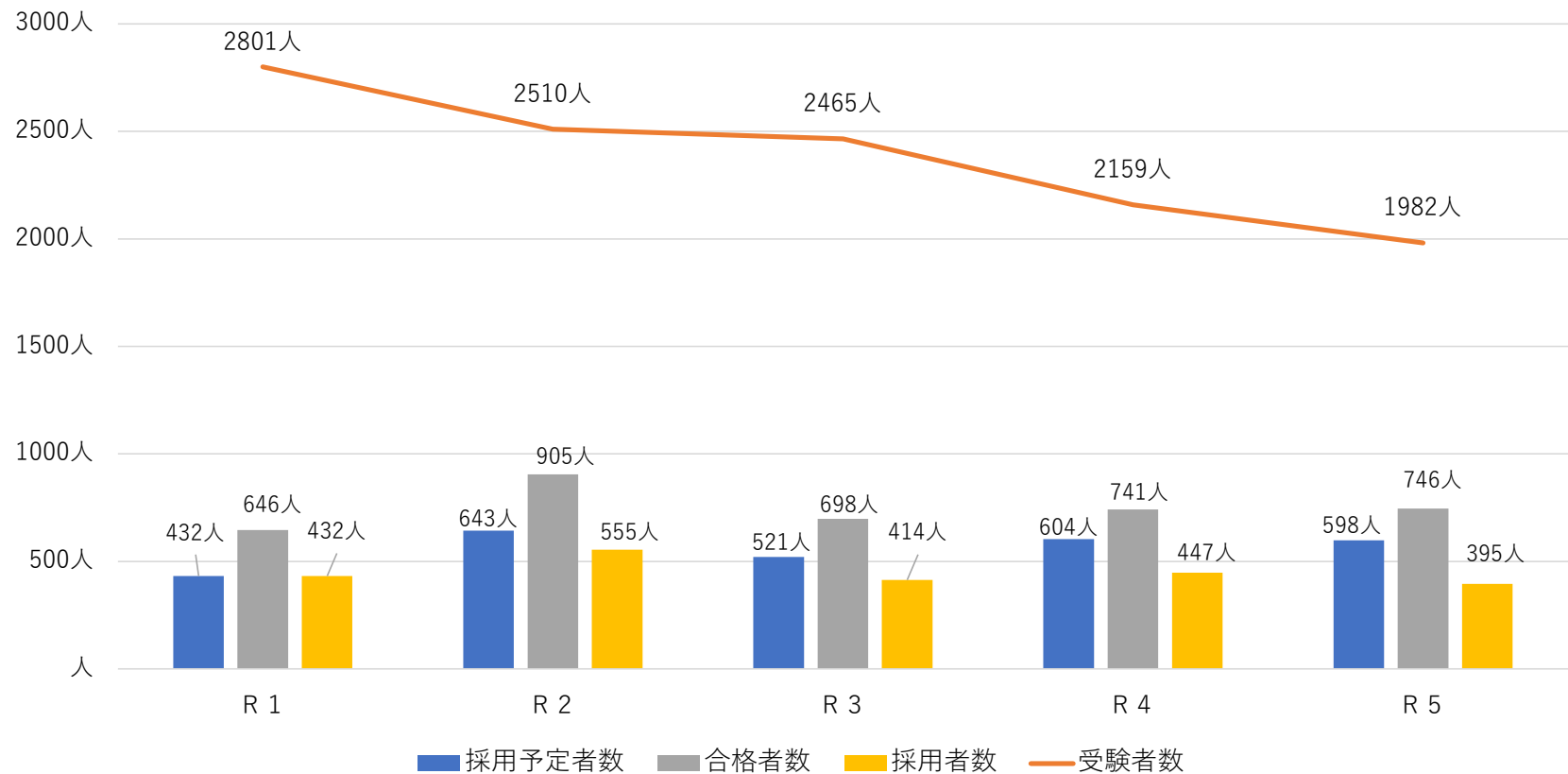
※常勤職員数に再任用短時間勤務職員は含まない。

千葉県職員の状況（知事部局）

職員採用の状況

近年、受験者数が減少するとともに、採用予定者数を確保できていない状況が続いている。

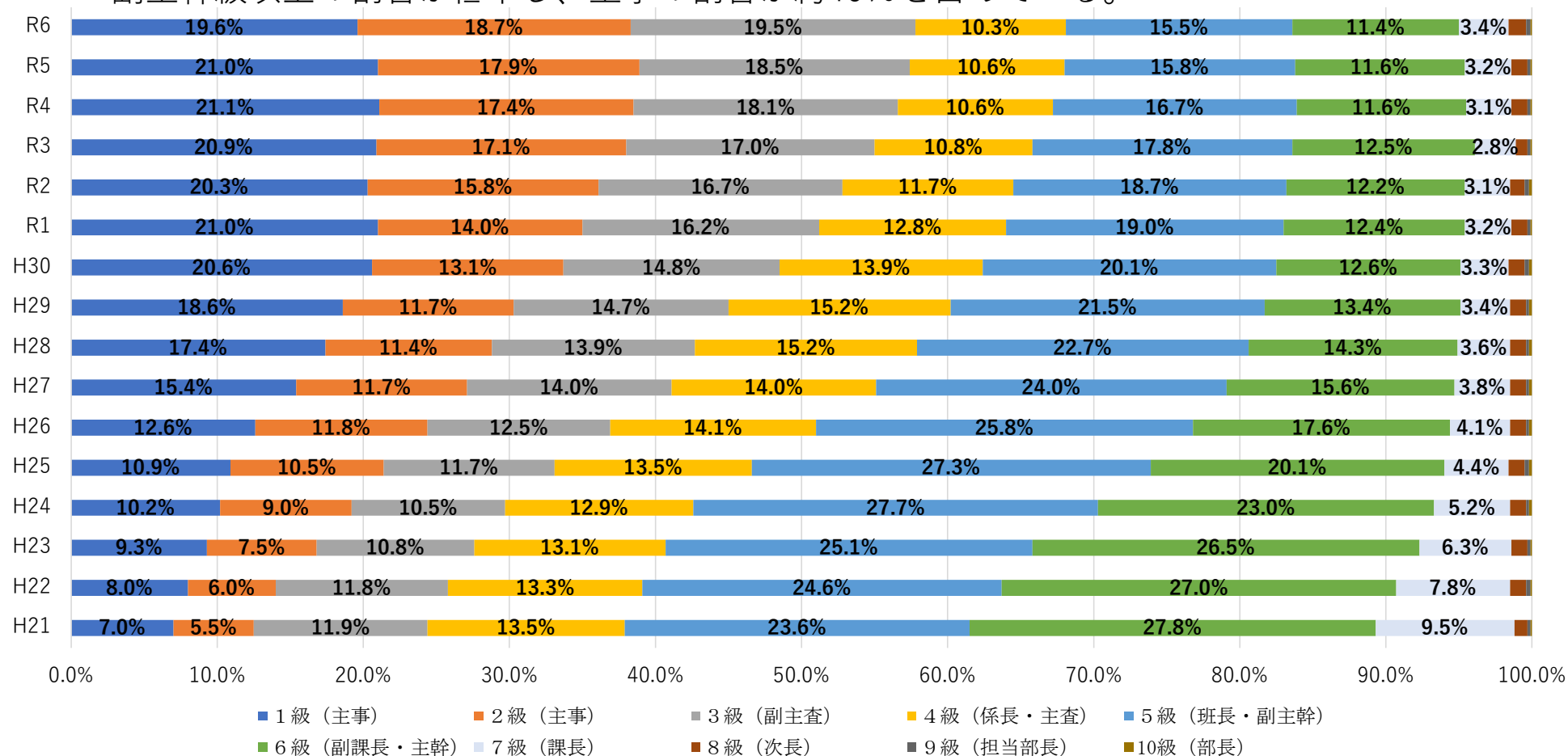
職員採用試験（競争試験）実施状況



千葉県職員の状況（知事部局）

職員の級別割合の推移（一般行政職員）

副主幹級以上の割合が低下し、主事の割合が約40%を占めている。



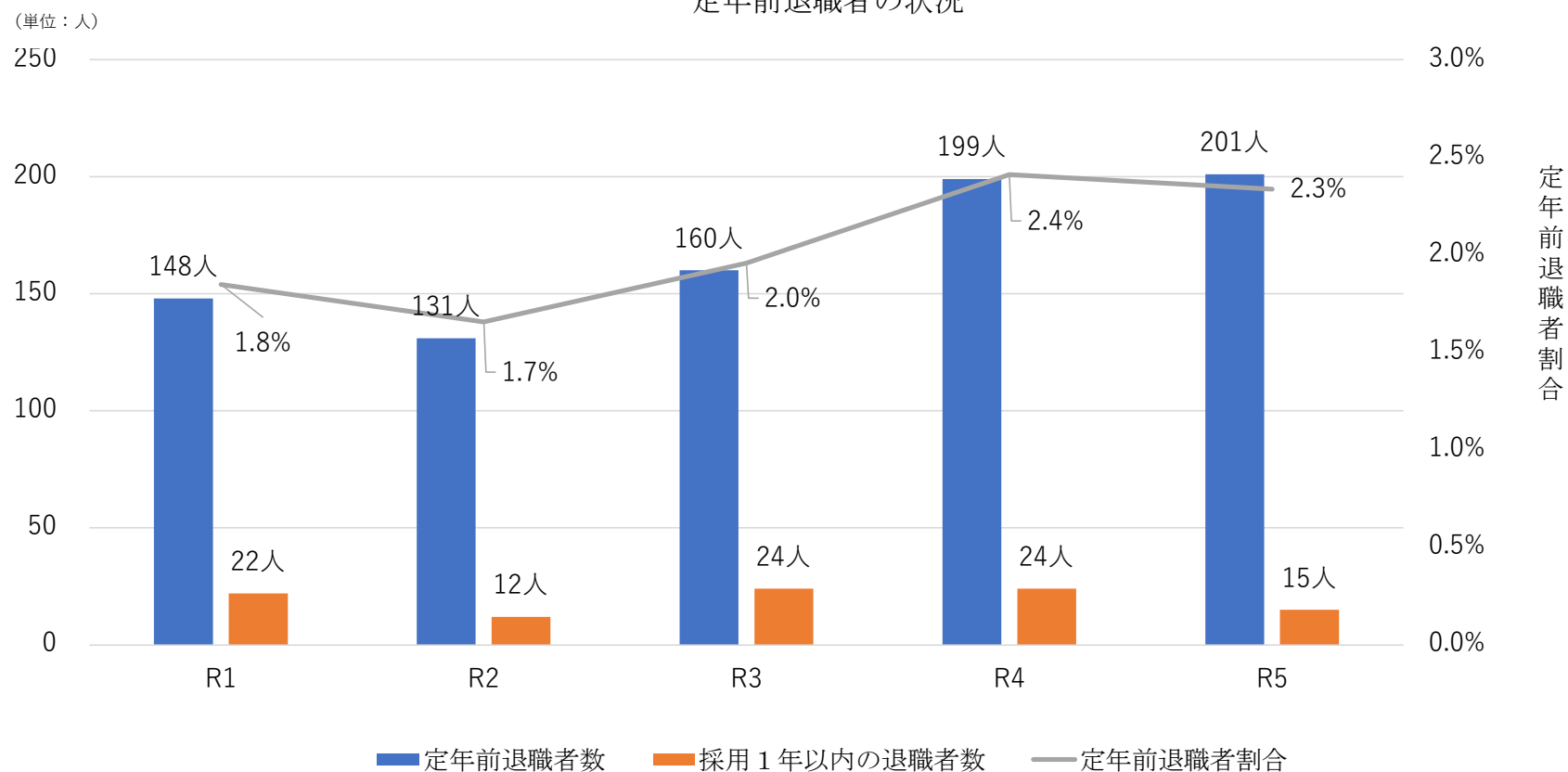
※「職員の給与に関する条例」に基づく行政職給料表の級区分によるもの

千葉県職員の状況（知事部局）

離職状況

退職者が増加傾向であり、採用後1年以内に退職する職員も見られる。

定年前退職者の状況

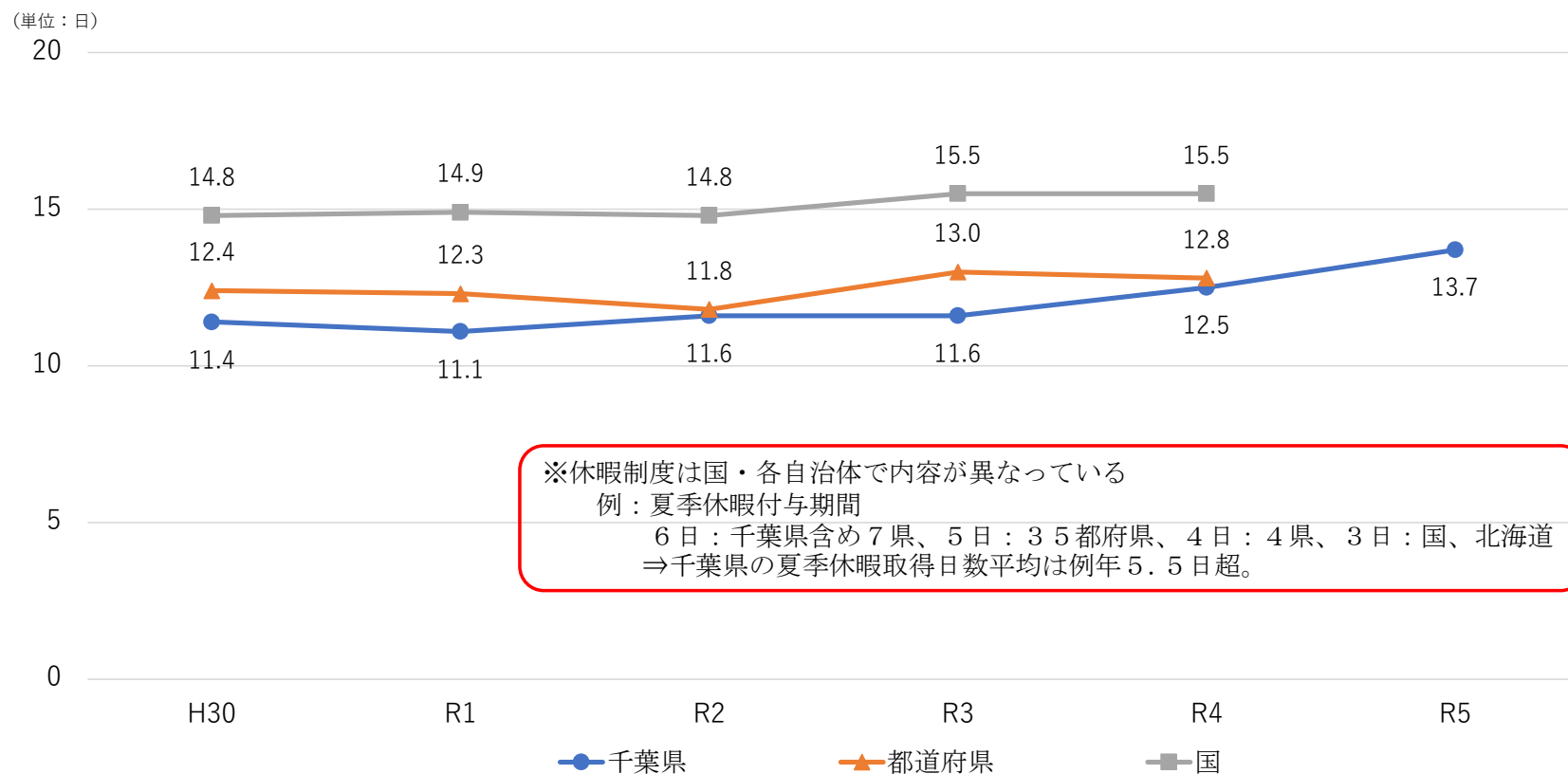


※定年前退職者：定年により退職となる日より前に退職した職員。
ただし、令和5年度は定年年齢が引き上がったが、年度末年齢60歳で退職した職員を除いている。
※定年前退職者割合：定年前退職者数／常勤職員数（再任用職員を除く）

千葉県職員の状況（知事部局）

年次有給休暇の取得状況（1人当たりの平均取得日数（1年間））

近年は国や都道府県平均より低い状況だが、令和5年度は13.7日と上昇した。

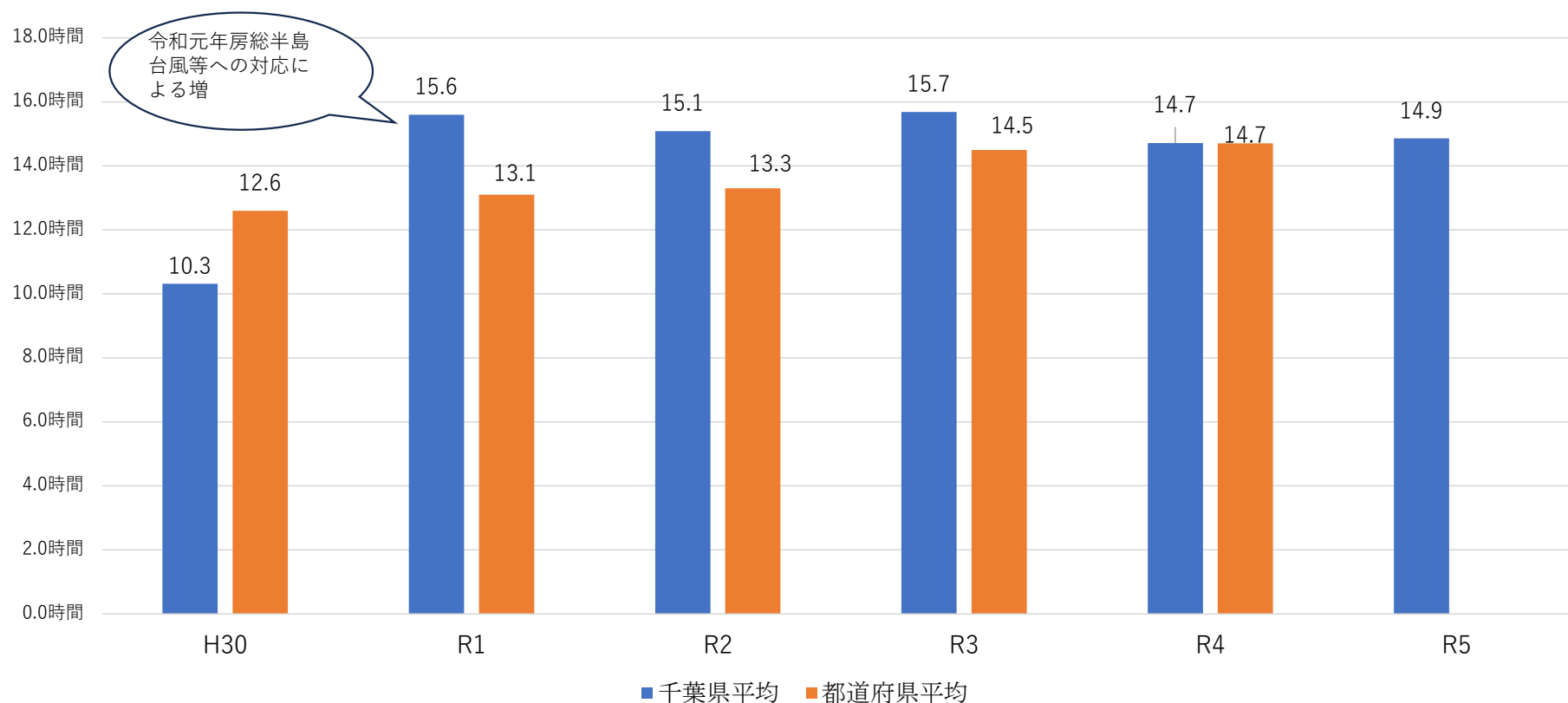


※出典「地方公共団体の勤務条件等に関する調査」（総務省）
（令和5年度の国・都道府県平均は公表前のため未掲載）

千葉県職員の状況（知事部局）

時間外勤務（月平均）の状況

令和元～3年度は、災害対応や東京2020大会への対応などもあり、都道府県平均よりも多かったが、令和4年度は都道府県平均と同水準となっている。



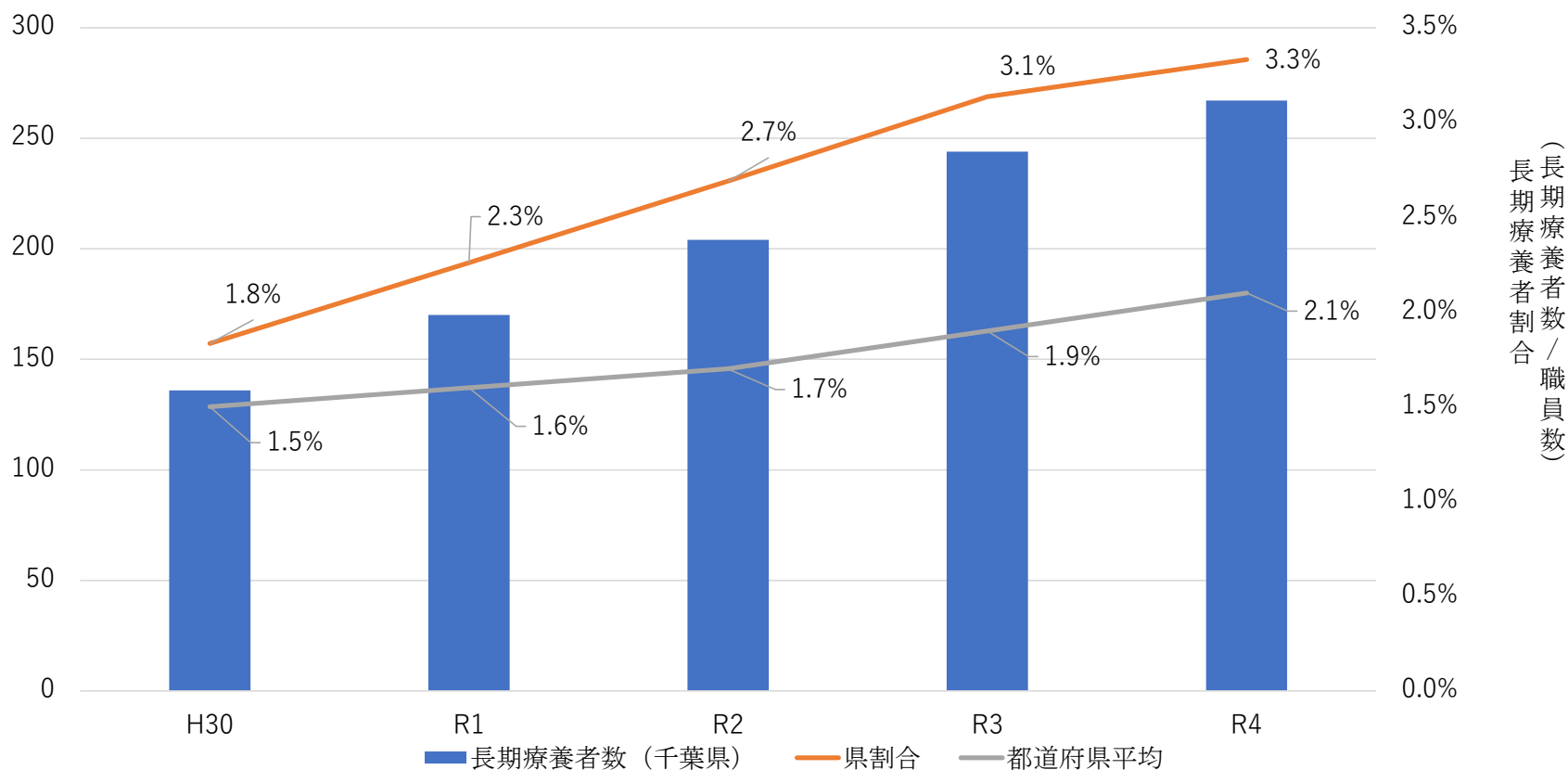
※都道府県平均：出典「地方公共団体の勤務条件等に関する調査」（総務省）
（令和5年度の国・都道府県平均は公表前のため未掲載）

千葉県職員の状況（知事部局）

精神疾患による長期療養者の状況

長期療養者数は年々増加傾向にあり、職員に占める長期療養者の割合は、都道府県平均を上回っている。

（単位：人）

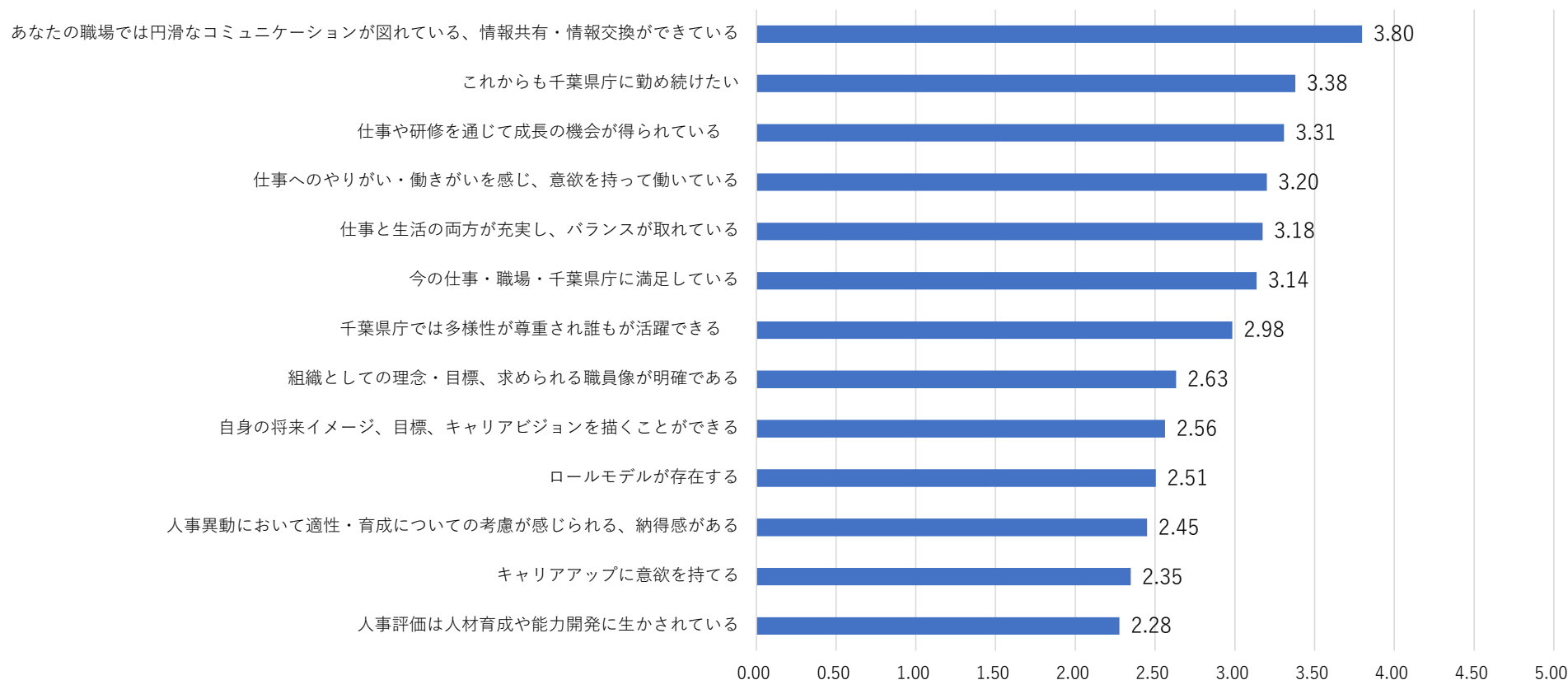


※長期療養者：精神疾患を理由としたものに限る。
療養休暇取得者（1月以上）＋休職者（当該年度中、休職となった実人数）

「職員のエンゲージメントに関するアンケート」 調査結果

あなたが日頃感じていることについて

キャリアアップに関する項目のエンゲージメントが低い傾向にある



※※全60項目について

①そう思う②少しそう思う③どちらとも言えない④あまりそう思わない⑤そう思わない
の5択から1つ選択。5点満点で①を5点、⑤を1点として点数化。

(仮称)千葉県職員人材基本方針【骨子】の主な取組に関連する項目を抽出

「職員のエンゲージメントに関するアンケート」概要

○対象者：一般職に属する県の職員（任期の定めのない常勤職員及び再任用職員）

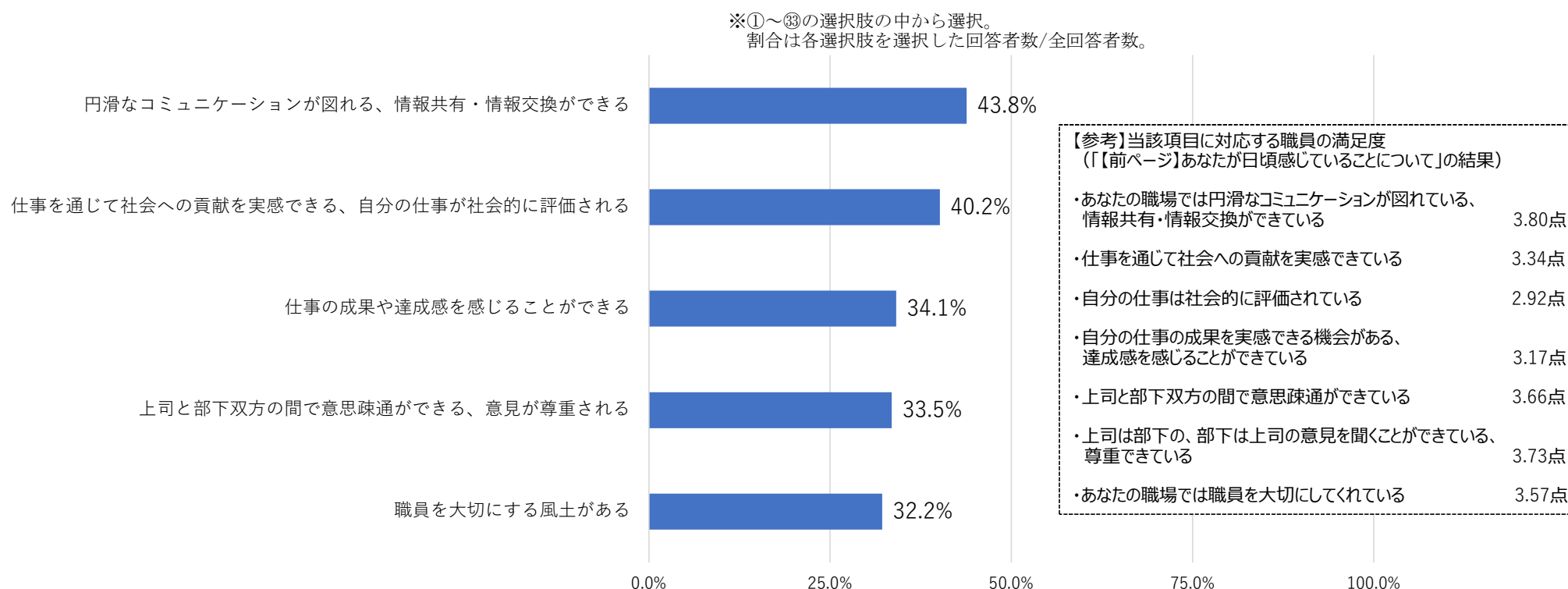
○実施時期：令和6年3月1～18日

○有効回答数1,925名

「職員のエンゲージメントに関するアンケート」 調査結果

「仕事へのやりがい・働きがいを感じ、意欲を持って働く」ために重要だと考えるものは何か。（上位5項目）

円滑なコミュニケーション、社会貢献が重要視される傾向がある。

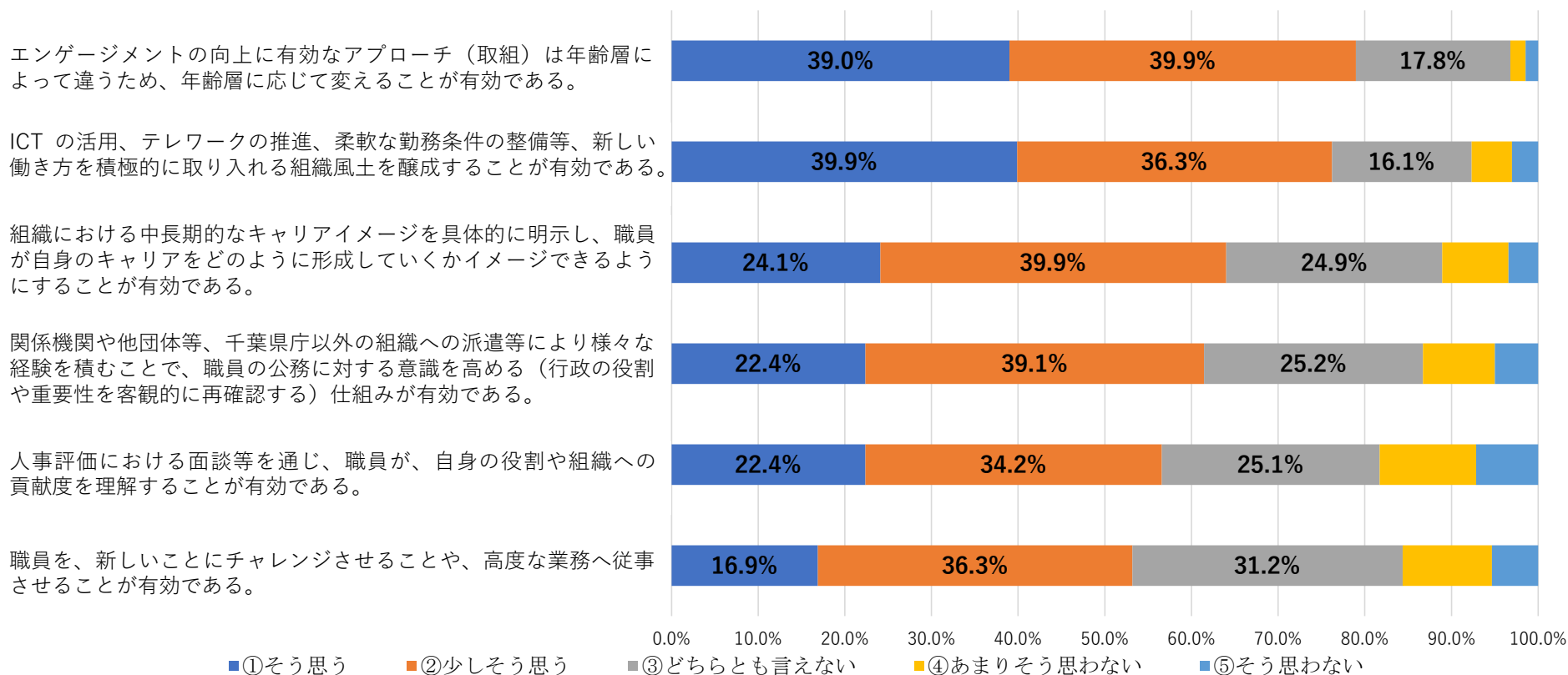


「職員のエンゲージメントに関するアンケート調査」概要
 ○対象者：一般職に属する県の職員（任期の定めのない常勤職員及び再任用職員）
 ○実施時期：令和6年3月1～18日
 ○有効回答数1,925名

「職員のエンゲージメントに関するアンケート」調査結果

どのような取組が「エンゲージメント向上に有効」と考えるか。

「新しい働き方を積極的に取り入れる組織風土を醸成すること」や「年齢層に応じて取組を変えること」が高い傾向である。



※「地方公務員行政に関する自治体アンケート」
（ポスト・コロナ期の地方公務員のあり方に関する研究会（事務局：総務省））
の設問を参考に設定したもの

「職員のエンゲージメントに関するアンケート調査」概要
○対象者：一般職に属する県の職員（任期の定めのない常勤職員及び再任用職員）
○実施時期：令和6年3月1～18日
○有効回答数1,925名